平成２５年度第４回青梅市図書館運営協議会会議録

平成２６年３月２７日（木）　午後６時
中央図書館ボランティア室

〇　委嘱状交付
岡田教育長より新委員に対し委嘱状の交付

１　あいさつ
岡田教育長
清水教育部長

２　自己紹介
出席者全員

（会　長）それでは、私が議長を務めさせていただきます。本日の会議がスムーズに進行できますよう、皆様方のご協力をお願いいたします。

本日の協議会ですが、ここで改めて本日以後の会議等の公開・非公開の取り扱いについて、確認させていただきます。それでは、まず、会議につきましては、原則公開とし、公開しないことが望ましいと判断される場合は、その都度、会長が協議会に諮って非公開とすることもできます。また、傍聴につきましては、傍聴希望者の人数と会場のスペース等などを勘案し、その都度、会長が決定します。次に、会議録につきましては、概要を記録する要点筆記といたします。ただし、青梅市情報公開条例第９条第１項各号に該当するときは非公開といたします。例として『個人に関する情報で特定の個人が識別される、または識別され得るもの』が該当します。最後に録音・撮影につきましては、原則認めますが、会長の許可を要します。ただし、その行為が協議会の進行、運営を著しく妨げると認められるときは、録音および撮影等を認めないことができます。

以上、申し上げました会議の公開・非公開の取り扱いにつきまして、ご異議がございましたらご発言をお願いいたします。

無いようですので、次第にもとづきまして、進めさせていただきます。

３　報告事項

（１）平成２５年度図書館事業の実施結果について

（事務局）［資料１に基づき説明］
（委　員）１８番は、視覚障害者のためのものですか？
（事務局）はい。多目的室でデイジーの機械をどう操作するか説明しました。実際の視覚障害者は６人、操作を教えたいという方も含めて２６人です。
（委員）２６、２７、２８番の展示事業は入場無料でしょうか。
（事務局）無料です。３階レファレンスカウンター前と多目的室で展示を行いました。
（委員）展示に合わせて、関連する書籍の貸出数が増えるということはありますか。
（事務局）テーマを決めて本を置きますと、借りていく方が通常より多いです。

（２）平成２６年度青梅市教育委員会の教育目標について

（事務局）［資料２に基づき説明］
（委　員）ボランティアには、おはなしと整架があるとのことでしたが、おはなし会は子ども対象ですか。対面朗読はありますか。
（事務局）おはなし会は子ども対象です。対面朗読は視覚障害者対象で、朗読するのは訓練された方１０名です。
（委　員）図書購入に方針はありますか。
（事務局）図書館資料収集基準というものを作っています。時代に合った全分野を公平に揃えています。吉川英冶など郷土の作家も揃えています。
（委　員）青梅の歴史に関する本を集中的に集めるということはありますか。
（事務局）青梅市に関するものを網羅して収集しています。
（委　員）一番古いものはいつごろのものがありますか。保存しているもので劣化しているものはありますか。
（事務局）古くても昭和のものなので、そんなに劣化しているものはありません。作家の原稿などは防虫の箱に入れていますが、劣化はどうしても止められません。デジタル化は必要と考えています。
（委　員）バチカンの図書館が全資料をデジタル化すると言っていました。
（委　員）吉川英冶記念館ではどうしていますか。
（委　員）通常の書庫に入れていますが、脱酸処理を少しずつ進めています。
（委　員）酸性紙はもろいと聞きました。
（委　員）インクが焼けて抜けるなど、対応してもらっています。脱酸は、予算的にはそんなに高くありません。
（事務局）図書館では、資料の保存と利用があるので、デジタル化を進める必

要はあると思います。
（委　員）原稿は閲覧に出していますか。
（事務局）本と一緒に展示することはありますが、閲覧はしておりません。
（委　員）仙台市文学館では、希望があれば、原稿を閲覧できると聞きました。
（事務局）著作権についてクリアできれば、やりたいと思います。
（委　員）博物館ではくん蒸も必要と聞きました。デジタル化は福生がかなり力を入れていると聞きました。羽村でも青年団の団報を電子複写したものを貸出しています。保存に力を入れすぎてお蔵入りしてしまうのはどうかと思いますので、お願いしたいと思います。

（３）平成２６年度予算について
（事務局）［資料３に基づき説明］
（委　員）対面朗読では、高齢化が始まっていますので、新人発掘のための講習会を行っていただきたいです。青梅ではハンディキャップサービスが遅く始まり、この中央図書館ができてからです。対面朗読などをする人間が育っていないので、お願いしたいと思います。
（事務局）いろいろご指導いただきたいと思います。
（委　員）障害者ではなく、歳をとって本を読むのが大変になったということで、本を読んでくれるサービスはありますか。
（事務局）障害者でなくても、目が悪いということであれば対面朗読などは対応しています。また、大活字本も用意しています。
（委　員）他市町村も財政的に厳しいと聞いています。増減幅が大きいのはオンラインですね。パソコンのメンテナンスもお金がかかると思います。余談ですが、国会図書館に半年ぶりに調査に行きましたら、パソコンが変わり詳しく説明を聞かないと使えない状況でした。デジタル化が進みすぎて、危惧を持っています。
（事務局）図書館経営を考えると市民一人当たりいくらというのは必ず出てきます。人口１０万～１５万の自治体が全国で１０７あります。その中で青梅は上から２０番目くらいです。

（４）平成２６年度図書館事業計画について
（事務局）［資料４に基づき説明］
（委　員）再利用展示はどういうことをしますか。
（事務局）分館などで置いておくには古すぎる本３０００点くらいを幼稚園、保育園、市内小学校、子どもクラブなどに声かけをして再利用してもらいます。

（委　員）購入した本に対して外に出す本はどのくらいありますか。
（事務局）１６０００点くらいを受け入れ、同じくらいを出しています。
（委　員）連携推進モデル校は来年度も七小ですか。指導室との話し合いで決まるのですか。
（事務局）七小です。指導室からあげられてきた学校から決まります。
（委　員）中学校もあるのですか。
（事務局）中学校もあります。
（委　員）小学校のイメージが強いですね。小中交代でやれば中学校にも幅広くできるのではないですか。
（事務局）事業をする面では小学校の方がやりやすいところがあります。
（委　員）中学校でも１日図書館長など言っていただければ「やりたい」という子もいると思いますので、お声かけいただければ嬉しいです。
（委　員）１日図書館長は年に１日しかやらないのですか。
（事務局）はい。以前は１日図書館員をやっていたのですが、図書館長の方がいいだろうということで、昨年から行っています。とても人気があるそうです。図書館は１０歳くらいの小学４年生の利用が多いので、その年齢の子どもたちに図書館長をお願いすることが多いです。
（委　員）帽子かなにかをかぶるのですか。人数は１人ですか。
（事務局）たすきをかけます。人数は４人です。課長席で決裁判を押してもらったり、貸出返却処理をしてもらったりしました。ＴＣＮ（多摩ケーブルネットワーク）や西多摩新聞も取材にきました。
（委　員）図書館はなかなかスペースがない中で工夫をされていると思います。戦後からでも良いので、青梅の図書館の成り立ちがわかるような展示をしたらどうですか。青梅は三多摩のリーディングヒッターというところもあったので、図書館だからこそできる展示を提案させていただきたいと思います。
（事務局）ぜひやっていきたいと思います。日比谷図書館が戦争中に本を疎開させたという話があり、そのＤＶＤを上映する予定ですが、それに合わせて展示も考えたいと思います。

（５）その他

（事務局）「アンネの日記」ですが、２月２１日の新聞から大騒ぎになりました。破けば書架にしまわれてしまうと犯人に思われるのは困るので見回りを強化し、カウンターから見えるところにアンネの日記をおきました。結果的には、貸出数が増えました。その前に話題となった「はだしのゲン」は分館に収蔵されておりますが、開架で読者の判断に任せています。

飯能市と相互利用できるように話を進めています。教育委員会では承認をい

ただき、事務レベル話を進めております。
　２月の大雪のときに、図書館に人が来るか、ということでしたが、２月８日１１２１人、９日１２０９人、１４日９９２人、１５日６１３人、通常通り開館し、１７時以降に図書館に来た人は１００人以上です。
（委　員）アンネの日記、青梅では被害はなかったのですか。
（事務局）ありませんでした。市民の方から、青梅は大丈夫ですかというお電話があり、とても嬉しく思いました。
（委　員）防犯カメラはありますか。
（事務局）あります。
（委　員）入間市との相互利用はありますか。
（事務局）飯能市を先に行い、その実績を見て考えていきます。

４　その他

（事務局）次回協議会の開催日程について説明

（会　長）以上で、本日予定した案件は全て終了いたしました。委員のみなさまには、長時間にわたり、御協議を賜りまして大変ありがとうございました。
　これをもちまして、平成２５年度第４回図書館運営協議会を閉会いたします。本日は大変御苦労さまでした。

以　上

資料１

平成２５年度図書館事業について

（平成２６年３月１８日現在）

	内　　容	期　　日	回数	講　師　等	参加人数
1	お　は　な　し　会	中央図書館 毎月第４土曜日 11時～11時40分	11	図書館職員 図書館ボランティア	253人
		中央図書館特別 4月27日、7月27日、10月26日の各土曜日 15時～15時40分	3		41人
		今井市民センター 毎月第２土曜日 10時～10時40分	11		115人
		梅郷市民センター 4月20日、8月3日、12月7日の各土曜日 13時30分～14時10分	3		41人
		若草小1.2年生出張 10月22日（火） 9時30分～12時10分	6		200人
		藤橋小3.4.5.6年生出張 11月15日（金）、11月20日（水） 9時30分～11時20分	8		264人
		今井小1.2年生出張 3月6日（木）、3月12日（水） 9時30分～12時15分	5		137人
2	紙芝居のおはなし会	8月18日（日）、12月21日（土） ①11時～11時40分 ②13時30分～14時10分 ③15時～15時40分	5	尾花　栄一 森内　直美	107人
3	おはなし学習会	5月10日、7月12日、9月13日、11月8日、1月10日、3月14日の各金曜日 10時30分～12時	6	齋藤　厚子	66人
4	おはなし勉強会	5月25日、6月22日、8月24日、9月28日、11月23日、12月21日、2月22日の各金曜日 13時～15時	7	齋藤　厚子	52人
5	絵本のべんきょう会	5月17日、6月28日、9月20日、11月15日、1月24日の各金曜日 10時～12時	5	図書館ボランティア	90人
6	釜の淵新緑祭 おはなしかい	5月12日（日） ①10時～10時30分 ②10時30分～11時	2	図書館ボランティア	36人
7	おひざにだっこで おはなしかい	6月21日、10月18日、2月28日の各金曜日 ①10時20分～11時 ②11時20分～12時	6	図書館ボランティア	156人

	内　　容	期　　日	回数	講　師　等	参加人数
8	絵　本　の　森 （２歳～４歳児向けおはなしかい）	毎月第１金曜日 10時30分～11時10分	12	図　書　館 ボ　ラ　ン テ　ィ　ア	279人
9	ブ　ッ　ク　ス　タ　ー　ト （健康課との共催事業）	毎月第１・第３水曜日 14時～15時 健康センター	24	図書館職員	477人
10	「本の読み聞かせ講習会」（図書館と学校の連携モデル校事業）	7月24日（水） 14時～15時30分 7小図書室	1	伊藤美代子 佐藤　貞子 図書館職員	13人
11	7小2年生レファレンス体験（図書館と学校の連携モデル校事業）	10月24日（木） 9時15分～10時 小曾木図書館	1	図書館職員	20人
12	7小1.2年生講演会（図書館と学校の連携モデル校事業）	2月21日（金） 10時45分～12時15分 7小多目的室	1	チュルテム・ バットトゥムル	38人
13	一日図書館長体験（図書館と学校の連携モデル校事業）	3月15日（土） 8時30分～12時 中央図書館	1	図書館職員	7小4年生 4人
14	子ども読書活動講演会「おはなしの世界を楽しむ」	6月29日（土） 10時30分～12時	1	平塚　ミヨ	46人
15	工　　作　　教　　室	8月9日（金） 13時30～15時30分	1	吉永　志伸 図書館職員	33人
16	子ども読書活動推進事業「こぐれけいすけ講演会」と切り絵体験	10月20日（日） 10時30分～12時	1	木榑　啓介	31人
17	論　　語　　講　　座	平成25年5月～平成26年2月　毎月第2日曜日 14時～15時30分	10	岩越　豊雄	226人
18	デイジー再生機操作講習会	6月28日（金） 13時30分～15時30分	1	シナノケンシ(株)	26人
19	リーダーズ・あおうめ「この指とまれ朗読会」	6月30日（日） 13時30分～16時	1	リーダーズ・ あおうめ	60人
	市　　民　　講　　座 地域文集「多摩の子」の誕生	8月25日（日） 14時～16時	1	沖川　伸夫	28人
	市　　民　　講　　座 「facebook」入門講座	9月21日（土） 14時～16時	1	田草川恒秋	29人
	市　　民　　講　　座 樋口一葉「十三夜」朗読会	11月2日（土） 14時～15時30分	1	リーダーズ・ あおうめ	58人
	市　　民　　講　　座 こんなに面白い「徒然草」講演会	11月3日（日） 14時～16時00分	1	谷津　矢車	48人
21	公　共　施　設　見　学　会 （秘書広報課と共催）	8月8日（木）、3月8日（土） 10時30分～11時30分	2	図書館職員	40人
22	中　央　図　書　館　映　画　会 「チップとデール」「ドナルド・ダック」、「赤ずきん」、「ブレーメンの音楽隊」ほか	8月22日（水）、12月22日（日） 11時～12時 13時30分～14時50分 15時5分～16時5分	4	―	181人

	内　　容	期　　日	回数	講　師　等	参加人数
23	大人向け紙芝居のおはなし会	12月21日（土） 16時～17時	1	尾花　栄一 森内　直美	17人
24	職　場　体　験　受　入	6月4日（火） ～7日（金） 9時30分～15時	1	図書館職員	新町中 ２年生 4人
		6月11日（火） ～14日（金） 9時30分～15時	1		７中 ２年生 2人
		6月25日（火） ～28日（金） 9時30分～15時	1		霞台中 ２年生 4人
		7月10日（火） ～13日（金） 9時30分～15時	1		１中 ２年生 2人
		9月10日（火） ～12日（金） 9時30分～15時	1		２中 ２年生 2人
		10月8日（火） ～10日（木） 9時30分～15時	1		吹上中 ２年生 2人
		10月22日（火） ～25日（金） 9時30分～15時	1		西中 ２年生 4人
		12月3日（火） ～5日（木） 9時30分～15時	1		泉中 ２年生 4人
		2月4日（火） ～7日（金）	1		3中 ２年生 4人
		5月8日（水） ～10日（金） 9時～16時	1		都立青峰学園 高等部2年 2人
		8月28日（水） ～30日（金） 9時～16時	1		都立青梅総合高校 ２年生 1人
		11月26日（火）、 12月10日（火） 9時～16時	1		都立青峰学園 高等部1年 6人
25	職　場　訪　問	11月1日（金） 14時～15時	1		２中 １年生 5人
26	中央図書館3階常設展示	2か月ごとに季節やテーマに合わせた図書資料の展示	6	－	－
27	中央図書館3階特別展示 「世界の平和を考える」、 「ソチ冬季オリンピック」 「3・11東日本大震災」他	季節やテーマに合わせた図書資料の展示（おおよそ１か月程度）	12	－	－
28	中央図書館特別展示 （豪華本・大型本の世界Ⅱ）	1月8日（水）～19日（日） 多目的室	1	－	－

資料　2

青梅市教育委員会の教育目標

青梅市の教育は、郷土の歴史と文化を尊重し、文化の継承と豊かな青梅の創造を目指し、平和な国家および社会の形成者として自主的かつ進取の精神にみちた健全な人間の育成と広く国際社会に生きる市民の育成とを期して、行われなければならない。

また、社会や時代の変化に伴う課題をとらえ、将来の展望をもった広い視野に立つ柔軟な発想を基に、未来を担う人間の育成を図ることが重要である。

青梅市教育委員会は、このような考え方に立つとともに、日本国憲法および教育基本法にのっとり、以下の「教育目標」に基づき、
学校教育および社会教育を推進する。

［青梅市教育委員会教育目標］

青梅市教育委員会は、子どもたちが、知性、感性、道徳心や体力をはぐくみ、郷土を愛する人間性豊かな市民として成長することを願い、

○　**互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間**

○　**社会の一員としての自覚をもち、勤労と責任を重んじ、社会に貢献しようとする人間**

○　**自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間**

の育成に向けた教育の充実、推進を図る。

また、学校教育および社会教育を充実し、だれもが生涯を通じ、自らの目標を目指して学び、互いに認め、支え合うことができる社会の実現を図る。

そして、教育は活力ある地域の中で、家庭、学校および地域のそれぞれが責任を果たし、連携して行うものであるとの認識に立って、すべての市民が教育に参加することを目指していく。

（平成１３年１２月４日　青梅市教育委員会決定）
（平成１７年　２月３日　青梅市教育委員会改訂）

平成２６～２８年度 青梅市教育委員会の基本方針

【基本方針１　「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成】

すべての市民が人権尊重の理念を正しく理解するとともに、思いやりの心や社会生活の基本的ルールを身に付け、協調と責任ある行動をとり、社会に貢献しようとする精神をはぐくむことが求められている。

そのために、人権教育および心の教育を充実するとともに、社会の一員としての自覚や公共心をもち自立した個人を育てる教育を推進する。

１　人権教育の推進

あらゆる偏見や差別をなくすために、人権尊重の理念を広く家庭・学校・地域に定着する人権教育を推進する。

２　心の教育の推進

児童・生徒が自他をいつくしみ生命を大切にし、思いやりの心や社会生活の基本的ルールを身に付けるために、道徳教育や障害への理解を深める教育の充実を図るとともに、家庭・学校・地域等が協働した心の教育を推進する。

また、真・善・美などの人間的な価値観を養うために、情操教育の推進を図る。

３　社会に貢献できる個人の育成

相互の支え合いと秩序のある社会を目指して、権利と義務、自由と責任についての認識を深め、協調と責任ある行動をとることができる個人を育てるために、社会体験や奉仕活動、地域との交流活動等の学習の機会を充実する。

４　郷土愛をはぐくむ教育の推進

児童･生徒が地域に住む人々の暮らしや心情への理解を深めるために、青梅の文化や伝統にふれる機会や地域における交流活動を推進する。

５　地域に根ざした教育の充実

児童・生徒が地域に愛着をもち、地域の一員としての自覚を高め、地域に貢献する人材を育成するために、身近な地域の自然や文化を教材として取り扱うことや地域人材の活用を図るとともに、関係施設や機関との連携を通して、地域に根ざした教育活動を充実する。

６　健全育成の推進

豊かな人間性と社会性を育成するために、児童・生徒の基本的な生活習慣の確立を図り、規範意識を高め、公共心をはぐくむことにより、健全育成を推進する。

７　いじめ、不登校問題への対応

いじめの根絶、不登校問題の解消に向けて、家庭・学校・地域および行政と関係諸機関の連携をより一層推進し、早期発見、早期解決を図る。

【基本方針２　「豊かな個性」と「創造力」の伸長】

国際化や高度情報化など社会の変化に対応できるよう、児童・生徒一人一人の思考力、判断力、表現力などの資質･能力を育成することが求められている。

そのために、基礎的・基本的な学力の向上を図り、児童・生徒の個性と創造力を伸ばす教育などを重視するとともに、広く国際社会に生きる市民を育成する教育を推進する。

１　学力の向上

学力の実態把握に努め、学習指導の改善を図るとともに、わかる授業・魅力ある授業を通して、児童・生徒の学習意欲を高め、家庭学習の援助の手立てを工夫し、学力の向上を図る。さらに、コミュニケーション能力の育成や言語感覚の育成のため、言語力の向上を目指す。

２　個を伸ばす指導の充実

基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るために、学力調査(国、東京

都)結果や授業評価の分析・考察をもとにした授業改善の推進を図る。

また、教科指導法の研究開発を一層進めるとともに、少人数指導や総合的な学習の時間などの学習を工夫・改善し、個を伸ばす指導の充実を図る。

３　健康・体力づくりの推進

児童・生徒一人一人が豊かな個性を発揮するための基盤となる健康や体力に関する意識を高め、健康の保持増進に向けた資質や能力をはぐくむ。そのために、食育リーダーを活用した食に関する指導の充実や体力テストの結果の活用を図り、家庭・学校・地域が連携・協力した健康・体力づくりを推進する。

また、運動部活動の振興に向けた支援の充実を図る。

４　国際理解教育の推進

国際理解教育の推進を図るために、外国人英語指導助手を活用し、小学校における外国語活動および中学校での英語教育を充実する。

５　情報教育の推進

児童・生徒の情報選択・情報活用能力等を育成し、確かな学力の向上を図るために、各教科や特別活動、総合的な学習の時間の学習活動などにおいて、積極的にＩＣＴ環境等の活用を図る。

※（ＩＣＴ：Information and Communication Technology【情報コミュニケーション技術、情報通信技術】）

６　キャリア教育の充実

望ましい勤労観や職業観をはぐくみ、働くことの意義を理解するために、職業に関する調べ学習や職場訪問、職場体験等を通して、働く人々や地域の人々との交流を深める教育活動の充実を図る。

７　特別支援教育の円滑な実施

障害のある児童・生徒に対する教育的な支援を円滑に実施するために、特別支援教育の理解・啓発に努めるとともに、「青梅市特別支援教育実

施計画第三次計画（平成２４～２８年度)」にもとづいて、特別支援学級の整備を検討するとともに、専門家による巡回・訪問相談や小・中学校の校内体制の充実、個別指導計画の活用、副籍制度等による交流活動の取組などの充実を図る。

８　教育相談体制の充実

いじめ、不登校等の多様な課題に対応するために、メール相談や電話相談の機能を高めるとともに、派遣相談の充実を図る。また、適応指導教室「ふれあい学級」の指導内容の一層の充実や、スクールカウンセラー等を活用した学校支援体制および相談環境の充実を図る。

特別支援教育の推進に向けて、相談から支援までが一体となったシステムの構築を目指す。

９　小・中学校一貫教育の推進

９年間の義務教育を見通した学習指導および健全育成の充実を図るために、各中学校区の特色を生かした、小・中学校一貫教育を推進する。

10　小規模特別認定校制度導入に伴う教育の推進

児童・生徒数の減少により、集団学習が困難となるおそれのある小規模な小・中学校に対する小規模特別認定校制度の継続により、児童・生徒数の確保を図るとともに、学校の特色や地域の特性を生かした安定的な教育を推進する。

【基本方針３　生涯学習の推進と社会教育の充実】

市民が生涯を通じ、主体的に学習機会を選択して学ぶことができるような生涯学習社会を実現することが求められている。

そのために、「第五次青梅市生涯学習推進計画」にもとづいた施策の推進に努めるとともに、学習環境を整備し、「ともに学んで生きるまち」を目指して社会教育の充実を図る。

１　生涯学習の推進

市民が自発的な意思をもって、主体的に学習することを支援するために、「第五次青梅市生涯学習推進計画」にもとづき、生涯学習ネットワークを構築し、家庭、学校、地域および関連機関との連携を密にして、市民の生涯学習を総合的・広域的に推進する。

２　生涯学習の環境整備

生涯学習の機能の充実を図るために、市民の学習要望の把握と学習情報・機会の提供、施設の整備・活用および講師・指導者等の登録制度の充実など、学習環境の整備に努める。

また、市民の学習要望に対応するため、各種講座・教室を効率的、効果的に実施する。

３　青少年の体験活動の充実

青少年の自立を支援し、地域との交流などを図るために、ボランティア活動など社会奉仕体験活動、自然体験活動、その他の体験活動の機会の充実に努める。

また、多様な体験活動を通して、集団的活動における協調性やリーダー性等を養う。

４　家庭教育への支援

子どもたちの生活習慣の確立を目指すために、国や東京都と連携して、家庭教育への啓発事業の推進を図る。

家庭の教育力の向上を図るために、家庭、学校および地域の連携・協力を推進するとともに、講演会を開催するなどして家庭教育への支援に努める。

また、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児期の教育支援を推進する。

５　地域における健全育成の推進

地域社会の中で、心豊かで健やかな子どもをはぐくむために、地域と連携し、体験・交流活動の環境づくりを推進する。

６　学校開放の推進

生涯学習を広域的に推進するために、学校教育と連携を図り、学校施設の有効活用や教員の専門性など、学校のもつ機能を市民の生涯学習事業に活かした学校開放の推進に努める。

７　社会教育施設の環境整備

生涯学習事業の一層の推進・充実を図るために、社会教育施設の環境整備に努めるとともに、社会教育施設のあり方について検討する。

【基本方針４　文化・芸術の振興】

市民が生涯を通じて、文化・芸術に親しむ機会の充実が求められている。

そのために、優れた文化・芸術や貴重な文化財を通じ、市民がひとしく文化を享受し、創造活動ができるよう文化・芸術活動への支援に努める。

１　文化財の保護・普及

長い歴史の中で培われてきた貴重な有形・無形の文化財を保護するとともに、市民への普及活動に努め、郷土に対する意識をはぐくむ。

２　芸術活動の振興

市民が優れた文化や芸術に触れる機会を充実させる。また、多岐にわたる芸術に関する学習および創作活動を支援し、芸術活動の振興を図る。

３　文化施設の環境整備

市民が芸術の鑑賞、学習できる場の充実を図るため、文化施設が連携するとともに、計画的に施設の整備に努める。

４　読書活動の推進

市民が自主的に調べ学ぶことができる環境を提供するために、図書等資料の継続的な整備を行うとともに、「青梅市子ども読書活動推進計画」を推進するほか、図書館事業の充実、図書館ボランティアとの協働などに努める。

また、図書館管理運営体制の見直しなど、今後の青梅市図書館のあり方を検討する。

【基本方針５「市民の教育参加の促進」と「主体的な教育行政の推進」】

家庭・学校・地域が相互に連携・協力をすることによって、すべての市民の教育参加を進め、教育行政を力強く展開していくことが求められている。

そのために、青梅市の特性を生かした主体的な教育行政を推進するとともに、市民からより信頼される学校づくりに向けて、学校経営の改革を進めていく。

１　将来を見通した教育施策の推進

将来の青梅市を見通した教育を創造し、時代の変化に即した教育施策の推進を図るために、「青梅市教育推進プラン」にもとづく施策を実施する。

２　開かれた学校づくりの推進

保護者や市民から学校運営等への支援を一層得るために、積極的な教育活動の公開や市民の学校行事等への参加の拡大を図るとともに、学校運営連絡協議会や保護者、地域住民等による学校関係者評価の実施や、学校評価の結果を公表することなどにより「開かれた学校づくり」を推進する。

３　特色ある学校づくりの推進

教育活動の充実および活性化を図るために、家庭・学校・地域が一体

となって、活力ある学校づくりを進めるとともに、地域の実情、児童・生徒の実態に応じた特色ある学校づくりを推進する。

４　安全・安心な学校づくりの推進

日常の教育活動や登下校時等の安全指導・管理、安全確保の徹底を図るために、家庭・学校・地域・関係諸機関が相互に連携した安全・安心な学校づくりを一層推進するとともに、通学路の安全確保対策を推進していく。

また、児童・生徒の心身の健康を保持・増進するため、学校保健の充実を図る。

５　学校給食の充実

安全で栄養バランスのとれた、おいしい給食の提供に努めるとともに、栄養教諭と連携して食育の推進を図る。また、効率的な業務運営を図るとともに、調理場施設・設備の計画的な整備や食器の改善を図る。

さらに、給食費の未納対策についても各学校と連携し推進していく。

６　学校経営の充実

年間を通した学校評価システムの効果的な運用を推進し、学校経営の改善・充実を図る。また、校長、副校長、主幹教諭を中心にした組織的な運営体制の充実を図り、校内の各分掌組織を効果的に活用し、自主的・自律的な学校経営を推進する。

７　教職員の資質・能力の向上

教職員が児童・生徒への理解を深め、指導と評価の一層の改善・充実を図るとともに、教育にかかわる諸課題を解決する資質や能力を高めるために、各種研究事業の支援およびライフステージに応じた教員研修等の充実を図る。

８　教職員の服務規律の確保

教職員による体罰等の服務事故の防止を徹底するために、研修などを通して、教育公務員としての自覚や法令遵守の意識を高め、学校教育に

対する信頼の確保に努める。

９　学校施設の安全対策等の推進

児童・生徒の安全確保と市民の避難所・避難場所としての役割を果たすために、耐震改修年次計画を推進するとともに、非構造部材の耐震対策および施設の老朽化対策等により教育環境の整備を図る。

10　教育委員会の機能の充実

開かれた教育行政を推進するため、取組内容や結果について、速やかで積極的な情報発信を行うとともに、市民の意見や要望に耳を傾け、家庭・学校・地域との一層の連携を深めながら、主体的な活動とともに機能の充実を図る。

11　スポーツに関する市長部局との連携

スポーツに関して、市長部局との協議・連携の場を通して情報交換等を行いながら、教育委員会における体育の充実を図る。

教育目標	平成１３年１２月　４日	青梅市教育委員会決定
教育目標一部改訂	平成１７年　２月　３日	青梅市教育委員会決定
基本方針	平成１８年　１月１２日	青梅市教育委員会決定
基本方針	平成１９年　１月１１日	青梅市教育委員会決定
基本方針	平成２０年　２月２１日	青梅市教育委員会決定
基本方針	平成２１年　２月　２日	青梅市教育委員会決定
基本方針	平成２２年　２月　４日	青梅市教育委員会決定
基本方針	平成２３年　２月　３日	青梅市教育委員会決定
基本方針	平成２４年　２月　２日	青梅市教育委員会決定
基本方針	平成２５年　２月１４日	青梅市教育委員会決定
基本方針	平成２６年　２月　６日	青梅市教育委員会決定

平成26年度予算

資料 3

◎歳入

節	項　目	26年度 予算額(千円)	25年度 予算額(千円)	増減額 (千円)	増減率 (%)	予算のおもな事業内容
03	中央図書館施設使用料	312	381	△ 69	△ 18.1	多目的室使用料
01	複写機等利用料	172	248	△ 76	△ 30.6	コピー等使用料
	施設光熱水費等 業者負担金	120	120	0	0.0	飲料水自動販売機設置電気代
	広告掲載料	10	10	0	皆増	青梅市図書館ホームページバナー広告掲載料
合　計		614	759	△ 145	△ 19.1	

◎歳出

01 中央図書館管理運営経費

節	項　目	26年度 予算額(千円)	25年度 予算額(千円)	増減額 (千円)	増減率 (%)	予算のおもな事業内容
01	図書館運営協議会 委員報酬	279	558	△ 279	△ 50.0	会長報酬、委員報酬
07	臨時職員賃金	34,068	34,806	△ 738	△ 2.1	嘱託職員
	臨時事務賃金	26,193	26,806	△ 613	△ 2.3	臨時職員
08	講師報償金	54	97	△ 43	△ 44.3	おはなし学習会、工作・手芸教室、文学講演会、市民講座
	図書館協力員報償金	75	75	0	0.0	対面朗読
09	普通旅費	61	55	6	10.9	職員等出張旅費
11	消耗品費	8,051	7,973	78	1.0	一般・事務用、新聞、図書用、雑誌、法令追録等、ファクシミリ用、蛍光灯、ハンディキャップサービス用、視聴覚サービス用
	印刷製本費	321	623	△ 302	△ 48.5	製本費、利用案内、図書館カレンダー作成(裁断含む) 図書館申請書等、図書館報、AV資料取扱説明書
	電気使用料	7,500	8,000	△ 500	△ 6.3	電気料
	水道使用料	1,084	1,075	9	0.8	水道料
	下水道使用料	791	785	6	0.8	下水道使用料
	修繕料	100	100	0	0.0	設備等修繕料
12	通信運搬費	562	610	△ 48	△ 7.9	代表電話通話料、ファクシミリ通信料、郵便料
	手数料	81	75	6	8.0	廃棄物処理手数料、対面朗読室カーテンクリーニング
	保険料	14	14	0	0.0	火災保険料

13	施設管理委託料	19,712	19,301	411	2.1	警備委託、清掃委託、くん蒸・害虫駆除
	設備保守委託料	1,750	1,701	49	2.9	自動ドア保守点検、昇降機保守点検、防災管理点検
	機器保守委託料	100	117	△ 17	△ 14.5	電子複写機保守および消耗品
	図書登録等作成委託料	3,202	3,121	81	2.6	新刊全件マーク作成料、マーク作成料、視聴覚資料研磨委託
	職員健康診断委託料	216	206	10	4.9	嘱託等職員定期健康診断
	録音資料作成委託料	718	772	△ 54	△ 7.0	録音資料作成委託、新刊案内作成委託
	巡回業務委託料	4,282	4,223	59	1.4	巡回業務委託(分館分)
14	使用料	11,057	11,559	△ 502	△ 4.3	検索用ソフト使用料、インターネット情報検索料 駐車場使用料、来館者駐車場使用料
	施設借上料	56,772	55,195	1,577	2.9	施設借上料、駐車場借上料
	器具等借上料	50	0	50	皆増	中央図書館映画会DVD借上料
	電子複写機賃借料	100	120	△ 20	△ 16.7	事務室
18	図書館用図書購入費	23,735	24,985	△ 1,250	△ 5.0	一般書、参考・地域、特別図書、AV資料(CD)、AV資料(DVD)
19	東京都市町村立 図書館長協議会負担金	9	9	0	0.0	東京都市町村立図書館長協議会負担金
	河辺タウンビルB 共益費負担金	28,729	27,931	798	2.9	共益費
合　計		229,666	230,892	△ 1,226	△ 0.5	

02 分館図書館運営経費

節	項　目	26年度 予算額(千円)	25年度 予算額(千円)	増減額 (千円)	増減率 (%)	予算のおもな事業内容
07	臨時事務賃金	16,385	15,578	807	5.2	繁忙日 、特別整理、臨時職員合同研修
11	消耗品費	3,217	3,293	△ 76	△ 2.3	一般用、新聞、雑誌
12	通信運搬費	127	129	△ 2	△ 1.6	郵便料
18	図書館用図書購入費	10,830	11,400	△ 570	△ 5.0	青梅以下11館分
合　計		30,559	30,400	159	0.5	

03 図書館事務オンライン経費

節	項　目	26年度 予算額(千円)	25年度 予算額(千円)	増減額 (千円)	増減率 (%)	予算のおもな事業内容
11	消耗品費	816	520	296	56.9	OPAC用用紙、電算処理装置用トナー、利用者カード
	修繕料	633	120	513	427.5	分館電算機器修繕料
12	通信運搬費	1,377	2,446	△ 1,069	△ 43.7	ドメイン維持、電話回線、 スーパーワイドLANサブグループ使用料、 利用者用インターネット回線費
13	機器保守委託料	5,944	1,872	4,072	217.5	電算保守
	電子計算処理委託料	0	3,528	△ 3,528	△ 100.0	図書館システム保守委託料
	機器撤去等委託料	65	0	65	#DIV/0!	現行機器廃棄業務委託料
14	電子計算機器賃借料	9,376	10,022	△ 646	△ 6.4	電算機器、電算機器青梅IC用
18	備品購入費	2,513	0	2,513	#DIV/0!	電子図書配信システム
	合　計	20,724	18,508	2,216	12.0	

04 西多摩地域広域行政圏協議会共同事業経費

節	項　目	26年度 予算額(千円)	25年度 予算額(千円)	増減額 (千円)	増減率 (%)	予算のおもな事業内容
19	図書館広域利用 事業負担金	108	108	0	0.0	図書館広域利用事業負担金
	合　計	108	108	0	0.0	

05 子ども読書活動推進事業経費

節	項　目	26年度 予算額(千円)	25年度 予算額(千円)	増減額 (千円)	増減率 (%)	予算のおもな事業内容
08	講師報償金	142	115	27	23.5	講演会、学校推進モデル事業、絵本のべんきょう会 おはなし学習会、紙芝居の講習会、子ども読書推進事業
11	消耗品費	130	118	12	10.2	学校連携等消耗品、学校推進モデル事業消耗品、 推進状況報告書用消耗品、エプロンシアター
	印刷製本費	225	262	△ 37	△ 14.1	ブックリスト印刷費
	合　計	497	495	2	0.4	

図書館費配当予算全体

項　目	26年度 予算額(千円)	25年度 予算額(千円)	増減額 (千円)	増減率 (%)	予算のおもな事業内容
合　計	281,554	280,403	1,151	0.4	―

資料4

平成26年度　図書館事業計画